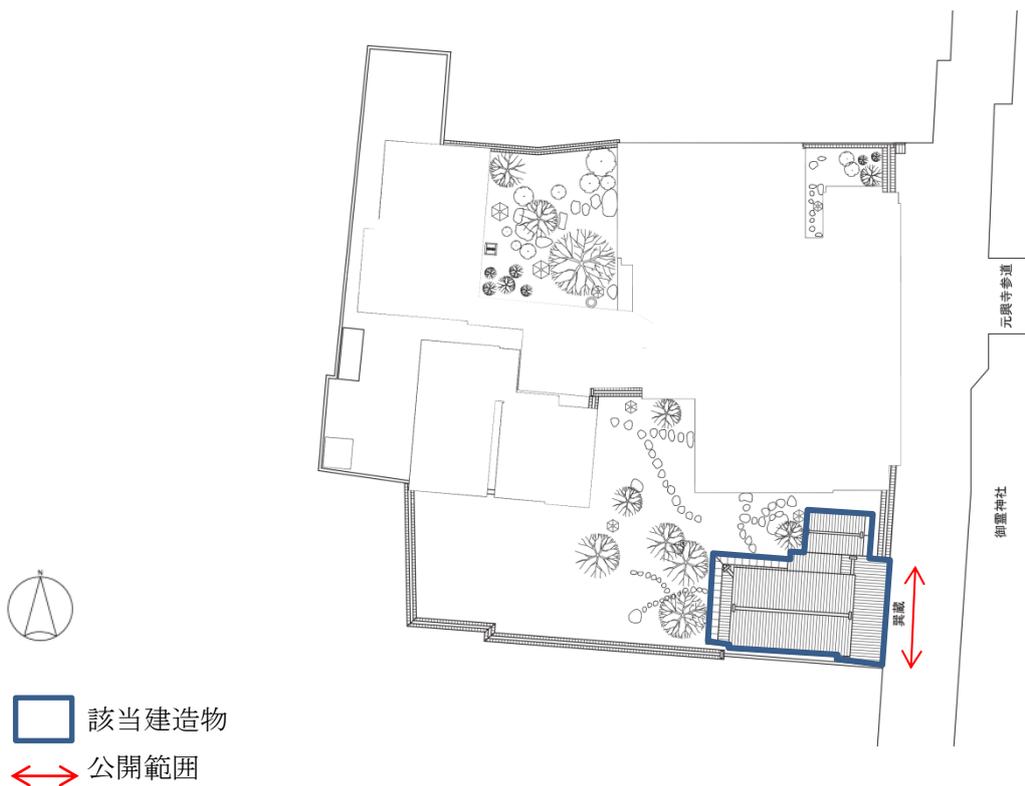


歴史的風致形成建造物 指定台帳

| | | | |
|-------------------|--|--------------|--|
| 指定番号 | 5 | 名称 | 木奥家住宅異蔵 |
| 指定年月日 | H30.4.10 | 所在地 (指定地) | 奈良市芝新屋町 17 番地 (奈良市芝新屋町 17 番地、西新屋町 3 番地 1) |
| 指定建造物 | 異蔵 | 建築年代・概要 | 弘化 2 (1845) 土蔵造、二階建、切妻造、本瓦葺、東面・ 西面及び北面下屋付属、便所棟付属 |
| 位置 ・ 歴史 | <p>当地は奈良町の中心部に位置する。敷地内の建物は近世に奈良晒問屋として栄えた大店が、寛政 4 年(1792)から順次建設したものである。大正 13 年(1924)に襖地生産を営む木奥家の所有となった。間口 12 間の主屋は平成 25 年(2013)に国の登録有形文化財に登録された。また、木奥家は近世に興福寺の造営や春日大社の式年遷宮に従事した宮大工集団である春日座大工の一員で、当時の大工道具は市指定文化財である。</p> | | |
| 建物特徴 ・ 改修履歴 | <p>異蔵は、敷地南東隅に通りに妻面を向けて建つ。東北及び西面に下屋庇を廻らし、外壁は漆喰塗で、軒蛇腹を付ける。2 階両妻面に設けた窓の庇と持ち送りは、漆喰で塗籠る。特に通りに面する東面の持ち送りは、西面に比べ凝った意匠である。奈良町の中でも比較的規模が大きな蔵で、漆喰塗の装飾や屋号の妻飾り等、風格ある構えである。</p> <p>また、棟札から弘化 2 年(1845)の建築と判明し、建築年代が明確な蔵として貴重である。</p> <p>内部は昭和 32 年頃に、1 階を車庫と応接室に改造し、北東部に茶室風の外観の便所・風呂棟を増築した。その後、応接室を当家所蔵の大工道具の展示室に改めている。戦後の増改築部分も丁寧な仕事で、暮らしの変化に合わせて大切に利用されている。</p> <p>(改修等)</p> <p>戦前 住居として改造</p> <p>昭和 32 頃 1 階東半部を車庫に、西半部を洋室に改造。西側、北側を下屋(縁)に改造。北東部に茶室風の外観の切妻造、銅板葺の風呂・便所棟を増築。</p> <p>平成 24 年 1 階西半部の内装を撤去し、大工道具の展示室に改装。風呂・便所棟の内部を台所、便所及び物入れに改修。</p> <p>平成 29 年 車庫内に耐震壁を新設</p> | | |
| 活用 | 現在、1 階は車庫と大工道具の展示室、2 階は蔵として利用する。 | | |
| 価値 | 異蔵は、奈良町を代表する大店を構成するとともに、奈良町の人々が、伝統産業や社寺と関わりながら、歴史や伝統を尊重する暮らしの中で受け継いできた建物のひとつといえる。 | | |



歴史的風致形成建造物 指定台帳
配置図



付近見取図

